

花の交野妙見へ (第58回くらわん会 2001/04/03)

桜の開花が例年より約1週間も早かった大阪の春、交野・妙見の花を訪ねて歩いた。毎年訪ねているほしだ園地も今日は生憎の小雨がしのついた。開花が早かったせいか「星の里いわふね」の大島桜の葉ももう青々と茂っている。

天の川沿いの道を行く、いつ見ても豪華なつくりで感心する森林鉄道風歩道橋にも人影はない。途中の水車小屋も雨に打たれて、重そうに廻っていた。小雨に煙るいわふね峡の奥に、山桜が遠目に白くかすむ様に咲いていた。

降り続く小雨の中では、いつも賑わっているピトン小屋前のクライミングウォールにも人影はなかった。ただ満開の桜だけが雨の中でたたずんでいた。小屋の横には、レンギョウの花が鮮やかな、色彩を見せ、その隣にアジサイの花がドライフラワーになってまだ芽吹きも無かった。

星田園地の名物「星のブランコ」も霧にかすみ、いつもの橋の上からの緑あふれる遠望は期待できなかった。昼食は貸切状態のやまびこ広場、そうこうしている内にようやく雨が上がった。

星田園地から尾根を越えて星田妙見に下る。妙見東から、妙見坂にかけての川沿いには、見事なソメイヨシノの桜並木が続き満開だった。妙見坂への住宅街にはユキヤナギ、れんぎょう、モクレンなど花一杯のラブリーな季節感にあふれていた。

富田朝己記

星の里いわふねのキャンプ場付近も人影はまばら



林鉄道風歩道橋 一つ見ても豪華な造りで感心する森林



小雨に煙るいわふね峡の奥に山桜が咲いていた



ピトン小屋前のクライミングウォールが小雨に煙っている



ピトン小屋横にはれんぎょうの花が満開で、なぜか隣にあじさいがドライフラワーになっていた





クライミングウォールには人影もなく、ただ満開の桜がたたずんでいた



無意味な大吊り橋「星のブランコ」のたもとにあるモニュメント



雨に覆んだ星のブランコは何となく寂しげ

道沿いのユキヤナギがしなだれかかるように満開の花を付けている



ほとんど貸し切り状態のやまびこ広場で昼食を摂る

見事に咲いたソメイヨシノの花びらは近くで見ると透明感がある

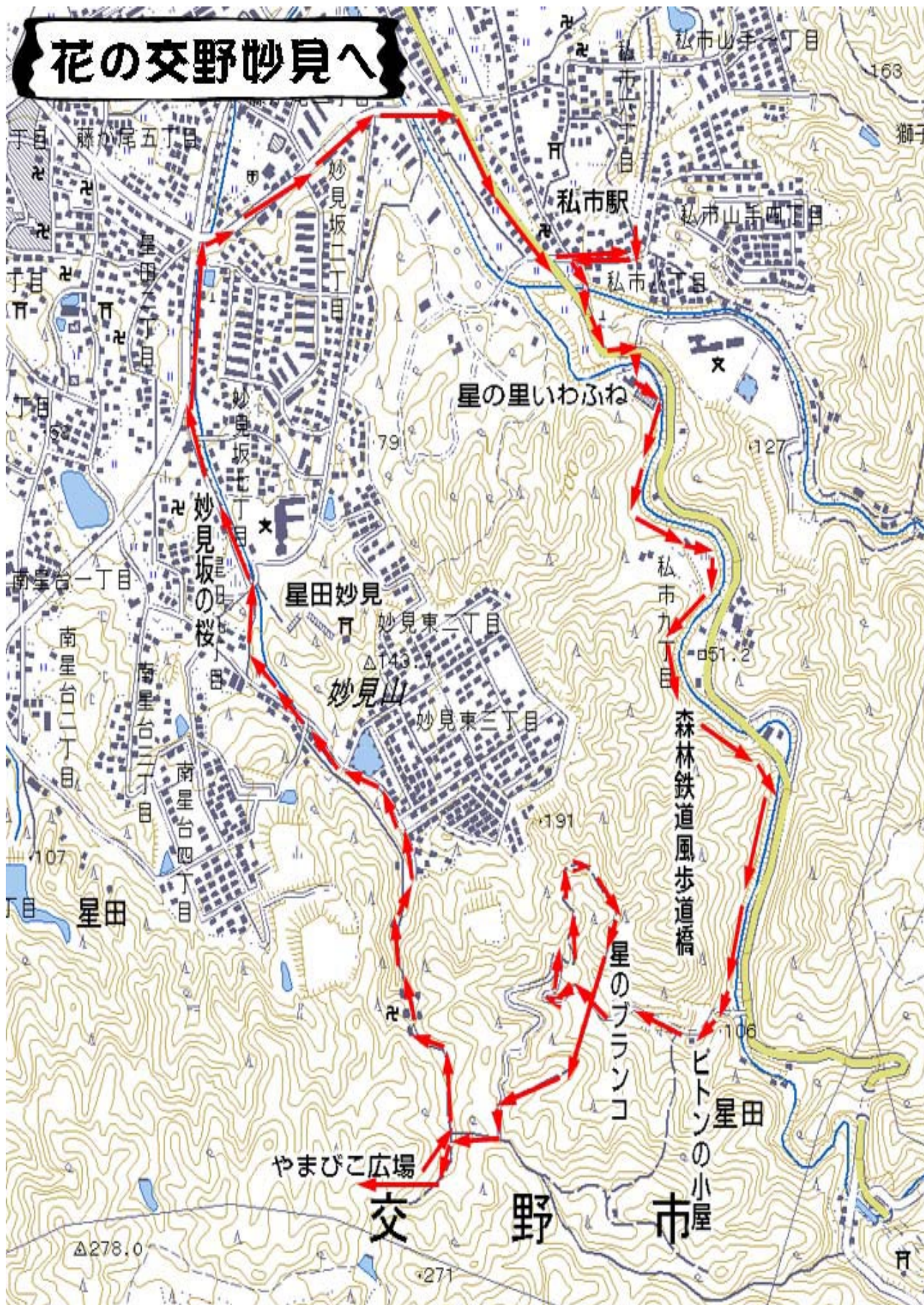


星田妙見の桜並木のソメイヨシノが満開の花で出迎えてくれた

妙見坂の星のみち入口の桜は散り始めていた



花の交野妙見へ



<行程>

京阪私市駅⇒星の里いわふね⇒森林鉄道風歩道橋⇒ピトンの小屋⇒星のブランコ⇒やまびこ広場⇒妙見坂の桜⇒京阪私市駅 8km 2001年4月3日 118名参加